

特別賞(ふれあいプロムナード賞)

都市計画道路 鈴蘭通改良事業

(表彰対象者：北海道滝川市建設部)

表彰の理由

流雪溝の設置、デザイン照明や植樹樹を設置するなど、「冬に強い街づくり」として、ゆとりと潤いのある都市形成に貢献した。
また、地元商店街振興組合による植樹樹の管理あるいは歩道の清掃等積極的な協力により、本路線がシンボリックな道路として市民に親しまれている。

事業のあらまし

3・4・7鈴蘭通は、一般国道451号から滝川市の中心商店街を通り、JR滝川駅前広場に至る幹線道路である。本市は、北海道のほぼ中心に位置し古くから中空知圏の中核商業都市として発展してきたが、近年、大都市圏への人口流出、あるいは近隣産炭地の炭鉱閉山等により購買力の低下が著しく、商業を取り巻く情勢は非常に厳しい現実となっている。そのような中で、地域経済の活性化を図るため、地元商店街主導による商店街近代化事業に着手することとなった。これを受けて、当市では地域の一体的な環境整備を図るため、街路事業により平成元年度から2ヶ年で事業に着手したものである。

- 延長：530m
- 幅員：20m
- 事業費：274百万円

整備後の街並。採光性のある近代的なアーケードにより、通り全体が明るいイメージとなっている。



整備前の街並。



整備後の街並。地元商店街振興組合によって、街路樹にホワイトイルミネーションが設置されている状況。

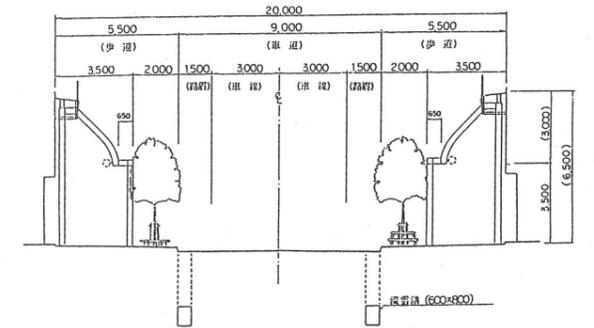


流雪溝が使用開始になる前の道路脇の雪山状況。



流雪溝への投雪完了状況。道路脇の雪山が消え、歩車道ともにスッキリしている。

ちょっとオシャレに歩きたい
NBDキ



事業遂行上の工夫

計画策定段階より地元と一体となって進められており、「ゆとりと潤いのある街づくり」「冬につよい街づくり」をコンセプトとし、流雪溝、あるいは近代的なアーケード等が設置されている。完成後、地元商店街振興組合では、「ペルロード」の愛称をつけ、植樹樹、歩道清掃等の維持管理についても積極的な協力が得られている。